



令和元年度（2019年度）  
大阪府立大学 理学系研究科  
公開セミナー



# Neutrons and Daily Life

（中性子と私たちの生活）

2020年2月9日（日）14時～16時（開場13：30）

大阪府立大学なかもずキャンパス サイエンスホール(A12棟)

講演者：Javier Campo教授

（スペイン・CSIC-ICMA所長、サラゴサ大学）

中性子を知っていますか？電子、陽子と共に物質を構成しています。中性子を使うと、身の回りの様々なことが分かります。ケブラー® 繊維が高強度な秘密、飛行機の金属疲労、歴史的遺産の鑑定、雪男の生きた時代、ナポレオンはなぜ死んだのか、などの不思議を次々に解き明かします。

（本セミナーは英語による講演です。視覚的な写真やビデオを多く含みます。日本語字幕などの補助をします。）

講師紹介：Javier Campo（ハビエル カンポ）

スペイン国立研究評議会(CSIC)アラゴン材料科学研究所(ICMA)所長

1968年 スペイン生まれ。1995年 博士号(Doctor of Science)取得。

1998年よりCSIC-ICMA研究員、主任研究員を経て、2012年より現職。

サラゴサ大学と兼任。2005～2018年ヨーロッパ中性子科学会スペイン代表。

2011年より5回に渡り、ゲストプロフェッサーとして大阪府立大学に滞在。

親日家。



- 参加費：無料、事前申込：不要、どなたでも参加いただけます。
- 定員100名（定員を超えた場合、入場を制限することがあります）
- 駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

主催：

大阪府立大学大学院理学系研究科

問い合わせ先：

大阪府立大学理学系研究科支援室

〒599-8531 堺市中区学園町1-1

TEL: 072-254-9161



令和元年度 大阪府立大学理学系研究科公開セミナー

日時：2020年2月9日（日）14：00－16：00

会場：大阪府立大学なかもずキャンパス・サイエンスホール（A12棟）

プログラム

13：30 開場

14：00 開会のあいさつ（理学系研究科長 入江 幸右衛門）

14：10 講演「Neutrons and daily life（中性子と私たちの生活）」

Javier Campo 教授

（スペイン国立研究評議会（CSIC）アラゴン材料科学研究所（ICMA）所長）

15：30 質疑応答

16：00 閉会

概要：

物質を構成する原子は、原子核と電子から形成され、原子核は陽子と中性子からできています。中性子は、電子に比べてなじみが薄いかもしれませんが、中性子が私たちの日常生活に役に立つことを実感できる講演をします。まず、中性子の性質を紹介します。どのようにして中性子を発生するのか、世界各地の施設、日本国内の2つの大型施設を紹介します。中性子は先端科学研究に欠かせない実験手段です。そして、その手法を身近なものに応用する実例を多く示します。ケブラー® 繊維が高強度な秘密、飛行機の金属疲労、歴史的遺産の鑑定、雪男の生きた時代、ナポレオンはなぜ死んだのか、など、中性子を使って次々に解き明かします。本セミナーは英語による講演です。視覚的な写真やビデオを多く含みます。日本語字幕などの補助をします。

- ・参加費：無料、事前申込：不要、どなたでも参加いただけます。
- ・定員 100 名（定員を超えた場合、入場を制限することがあります）
- ・駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。

主催：大阪府立大学大学院理学系研究科

問い合わせ先：大阪府立大学 理学系研究科支援室

〒599-8531 堺市中区学園町1-1 TEL: 072-254-9162